関生弾圧の狙いと裁判の現状

210925　名古屋　　弁護士永嶋靖久

1　弾圧の以前、生コン産業の状況はどのようなものだったか

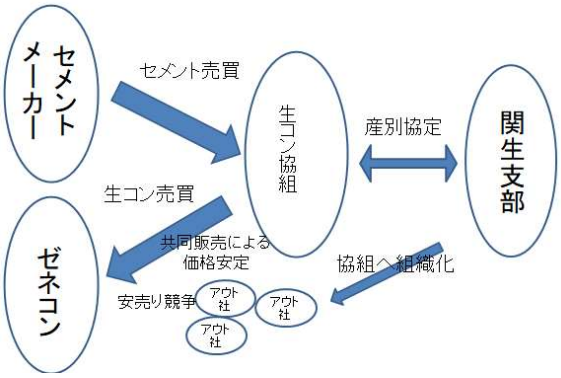
2　生コンの安売り競争は何をもたらすか

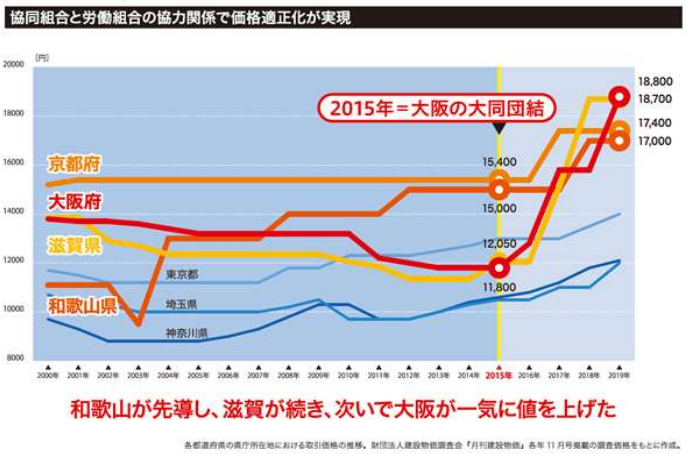
3　生コン関連業界の労働者はどのような状況にあったか

関西地区では、ミキサー運転手の７割が非正規、その大半が日々雇用

→別図　生コン産業における労使関係のラフスケッチ

4　関生支部の産業政策運動とその成果はどのようなものか





5　関生支部に対する弾圧の経過と弾圧の構造

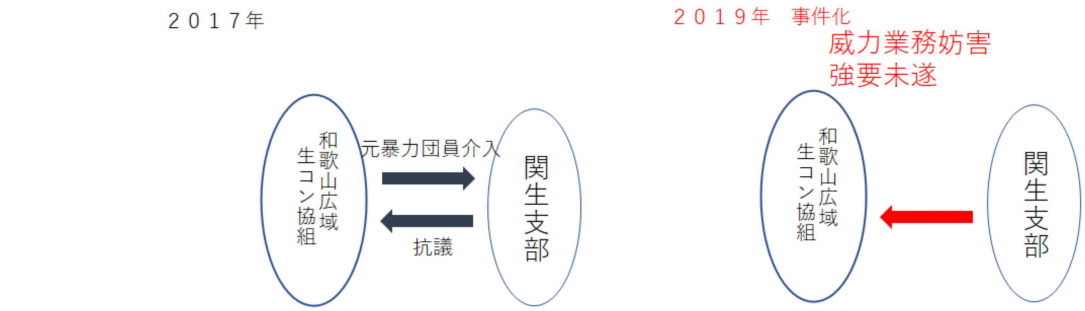
	逮捕	起訴	事　件　名	逮捕者数		事件の時期・内容			府県警
２０１８年				組合側	経営側	（　）内は不起訴			
①	7/18	8/8	フジタ事件		4(3)	2017年	恐喝未遂	生ｺﾝ発注	滋賀
②	8/9	8/30	フジタ事件	1	2	2017年	恐喝未遂	生ｺﾝ発注	滋賀
③	8/28	9/18	フジタ事件	A, B外1		2017年	恐喝未遂	生ｺﾝ発注	滋賀
④	9/18	10/9	大阪港ＳＳ事件	16(8)		2017年	業妨		大阪
⑤	10/9	10/30	中央大阪生コン事件	8(5)		2017年	業妨		大阪
⑦	11/27	12/18	セキスイハイム事件	B外7		2017年	業妨		滋賀

２０１９年

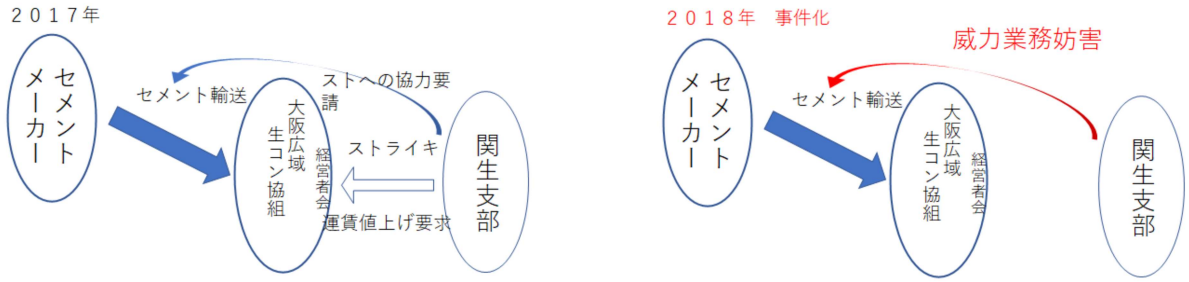
⑧	2/5	2/26	フジタ事件	15		2017年	恐喝未遂9 業妨6		滋賀
⑨	2/18	3/8	フジタ事件	1		2017年	恐喝未遂		滋賀
⑩	4/11	4/26	タイヨー生コン事件	A, B		2015年	恐喝	1千万円	滋賀
⑪	6/18	7/9	日本建設事件	4		2017年	業妨		滋賀
⑫	6/19	7/10	加茂生コン事件	A, B外3	2(0)	2017年	強要未遂3 ＋恐喝未遂2		京都
⑬	7/17	8/7	近畿生コン事件	A, B		2016年	恐喝	6千万円	京都
⑭	7/17	8/9	東横イン事件	4(2)		2017年	業妨		滋賀
⑮	7/22	8/9	和歌山広域協事件	3		2017年	強要未遂・ 業妨		和歌山
⑯	8/20	8/30	日本建設・東横イン事件	B		2017年	業妨		滋賀
⑰	9/4	9/25	ベスト・ライナー事件	A, B		2014年	恐喝	1億5千万円	京都
⑱	11/14	―	和歌山広域協事件	B外1(0)		2017年	強要未遂・ 業妨		和歌山

A は武委員長、B は湯川副委員長、業妨は威力業務妨害

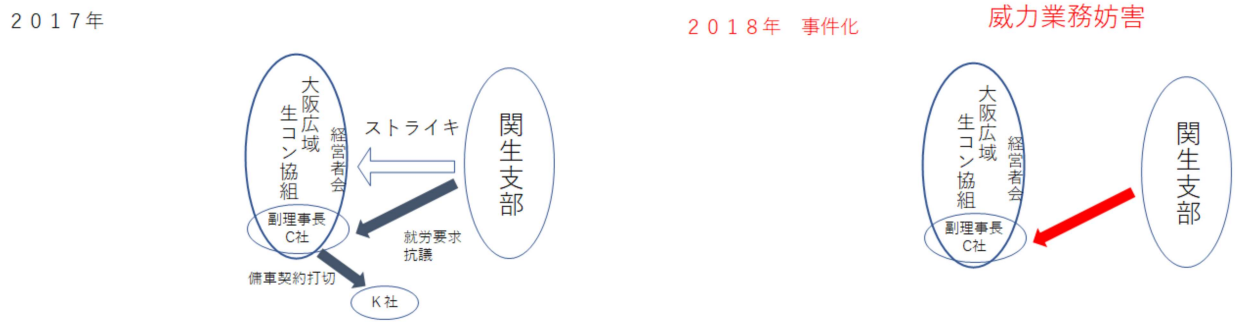
和歌山広域協事件の構造



大阪港ＳＳ事件の構造　　（SS はｾﾒﾝﾄ・ｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ

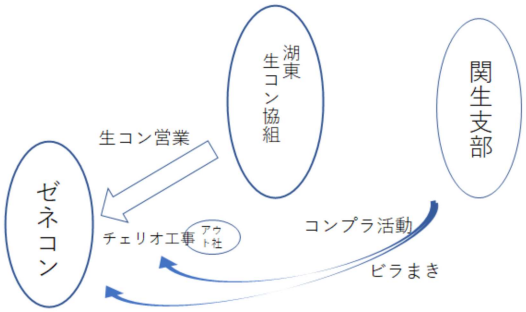


中央大阪事件の構造

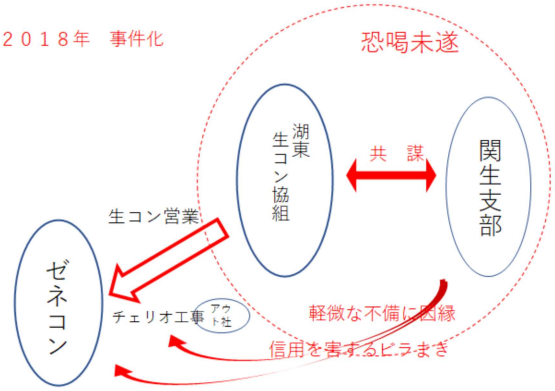


湖東協事件（フジタ事件）の構造

２０１７年

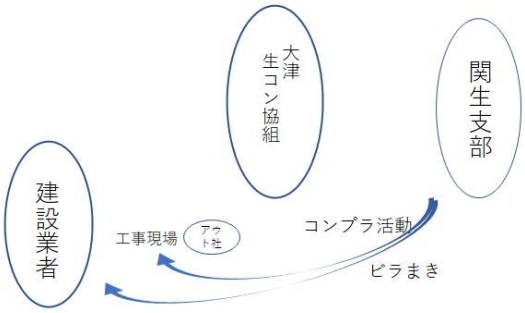


２０１８年　事件化

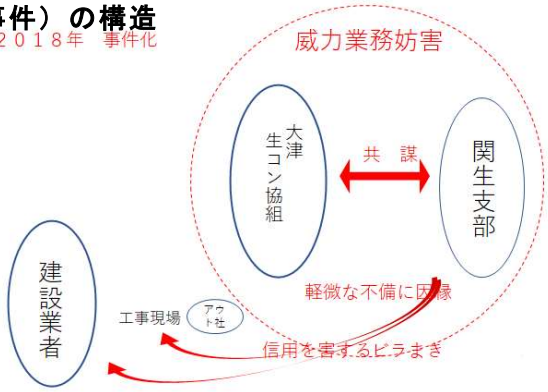


大津協事件（セキスイハイム・日建・東横イン事件）の構造

２０１７年

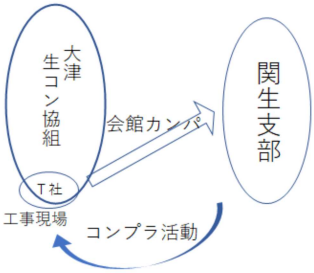


２０１８年　事件化

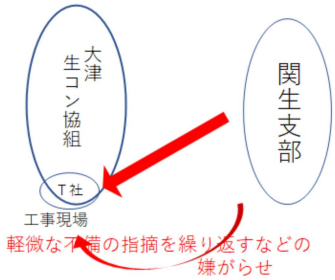


タイヨー生コン事件の構造

２０１５年

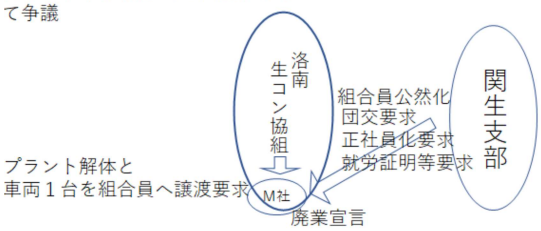


２０１９年　事件化

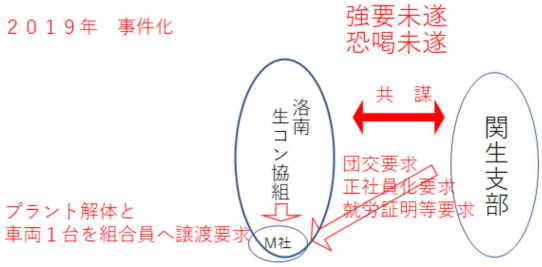


加茂生コン事件の構造

２０１７年１０月～翌年4月にかけて争議

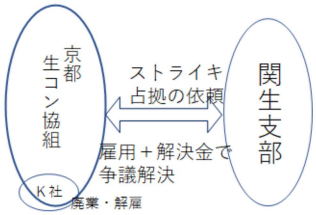


２０１９年　事件化

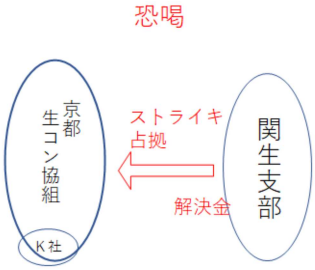


近畿生コン事件の構造

2016 年　争議

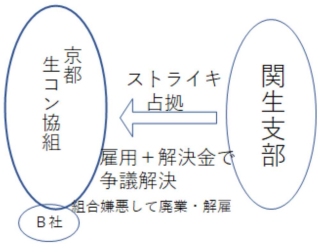


２０１９年　事件化



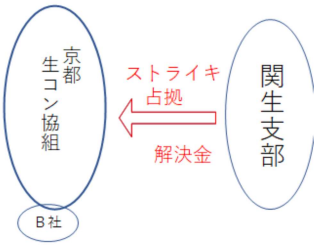
ベスト・ライナー事件の構造

２０１４年　争議



２０１９年　事件化

恐喝



６　２０２１年７月１３日　武委員長判決

懲役 3 **年・執行猶予** 5 **年**（求刑懲役 8 年）

・中央大阪事件（威力業務妨害）　有罪

・フジタ事件（恐喝未遂）　有罪

・タイヨー生コン事件（恐喝）　無罪

⑴　タイヨー生コン事件（恐喝）の無罪理由

A は、関生支部による本件コンプラ活動に困惑していたとは認められるが、客観的にみて、本件コンプラ活動自体が金銭交付を要求する行為であったとは評価できない。また，本件面会以前に武又は湯川が A に対して金銭交付を要求した事実も認められない。さらに，本件面会時における武及び湯川の行為自体も，A を威迫し金銭の交付を要求する行為であったとは認められない。

⑵　大阪港ＳＳ・中央大阪事件（威力業務妨害）の有罪理由

（大阪港ＳＳ事件）組合員らは、バラ車の前に立ちはだかったり、取り囲んだりするなどして・・・走行を物理的に妨げ・・・心理的な意味でもバラセメント輸送業務を強烈に阻害

（中央大阪事件）組合員らの行為は・・・ミキサー車の走行を阻み・・・穏当とは言い難い言動とも相まって、心理的な意味においても、ミキサー車の入出場を強烈に妨げ・・

〇弁護人の主張「労働組合の正当な行為は処罰できない」について

行為態様が強烈であること、そもそもＵ組及び中央大阪生コンは関生支部の組合活動の対象となる使用者ではないことを踏まえると、正当行為としてその違法性が阻却される余地はない

⑶　フジタ事件（恐喝未遂）の有罪理由

〇弁護人主張「恐喝にあたらない」

人命や環境汚染に関わる重大な法令違反が、客観的に疑われる場合に、現場管理者などに対して業務の妨げにならないよう少人数・短時間・平穏に指摘した上、警察官や自治体職員などに通報、指導改善を求めた。

不公正な競争を排除して共同販売事業を拡大するという正当な目的のために産別労働組合の団体行動権の行使として、あるいは、公益通報者保護法の法理に基づく正当な権利行使として、平穏な態様で行われた。

法令違反の例

・2017/3/25　ユニック車のアウトリガーの片方が全張りされていない

・2017/3/25　ユニック社フロント硝子に期限切れの仮検査標章が貼付
・2017/3/29　大型ダンプのリアバンパーが取り外されて走行
・2017/7/3　ユニック車のアウトリガーの片方が全張りされていない
・2017/7/3　クレーンの吊り荷の直下で作業を行っている

◆**判旨**　客観的にみて、フジタに対しチェリオ２期工事に係る生コン供給契約の相手方をD社からO社に変更しなければ、コンプラ活動等によりフジタの施工する工事等を妨害したり、フジタを含む大和ハウスグループの信用に害を加えたりする気勢を示した。関生支部及び湖東協組組合員らによる行為は、チェリオ 2 期工事に係る生コン供給契約に関し，相互に情報交換を行いながら連携をとり，チェリオ 2 期工事の施工に関しフジタに強い圧力を加え、D 社から湖東協組の登録販売店である O 社に生コン供給業者を変更させることを要求する趣旨で行われた。

脅迫により、財産上不法の利益を得ようとするものであり、恐喝罪の実行行為」

ｃｆ　恐喝：財物または財産上の利益を交付させる手段として行われる暴行・脅迫。脅迫は相手方を畏怖せしめるに足る害悪の告知でなければならず、相手方を単に困惑させる場合は含まれない。

←法令違反を指摘し、真実を記載したビラを撒いて、「圧力」を加えることが「脅迫」か

〇弁護人主張「労働組合の正当な行為は処罰できない」について

◆**判旨**　関生支部組合員らによる行動は、それらを個々的にみて評価すべきものではなく、チェリオ 2 期工事に係る生コン供給契約をO社に得させるために行われた一連の行動と理解すべき。このような一連の行動を全体としてみると、その対応に追われたフジタ関係者の負担は重く、フジタに対し，長期にわたり平穏を害するかたちで執拗かつ強力に圧力を加え続けた行動。正当な行為と評価する余地はない。

⑷　判決には「労働組合法」という言葉が出てこない

判決を読んだある学者の感想　　「途方に暮れる。」

7　生コン労働者は弾圧と組合つぶしを経て、今、どのような状況に置かれているか

⑴　支部組合員数の激減

・大阪広域協内で労供で就労した関生支部朝日分会

２０１７年１２月　９９１人　→　２０２０年１１月　５０人

・組合員のうち日々雇用労働者

２０１７年３月　５５６名→４００名以上が脱退

⑵　労働条件

・２０１７年春闘協定（経営者会と関西生コン関連労働組合連合会）

賃金６３０万円以下は月額１万円、６３０万円超は月額７０００円の賃上げ

年間休日は１２５日

正規・非正規５：５・・・に向けて継続し協議する。

・２０２０年モデル賃金合意書(オーナー会と近畿生コン関連協議会)

賃金は年齢別で上限５５０万円

年間休日は１０５日

（既存の正社員労働者の賃金労働条件は引き下げない）

８　今後の裁判などの進行はどうなっているか

⑴ 今後の刑事裁判の進行

大阪高裁　　京都加茂生コン事件現場グループ・大阪事件第一次弾圧グループ
大阪事件第二次弾圧グループ・武委員長（大阪事件・フジタ事件・タイヨー事件）

大津地裁　　コンプライアンス活動先行グループ＋タイヨ-事件(湯川)
コンプライアンス活動後行グループ

和歌山地裁

京都地裁　（武委員長・湯川副委員長）加茂生コン・近畿生コン・ベストライナー

⑵ 労働委員会の進行

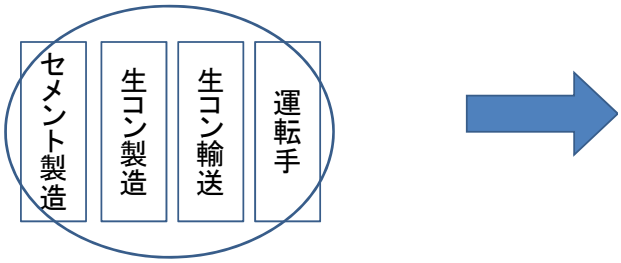
府労委命令	事件名	申立人	府労委結論		
2019/12/10	村田商事	支部	労組法違反認定	→	和解
2020/2/10	双葉産業	地本・支部	申立棄却	→	中労委
2020/2/25	藤原生コン運送	支部	労組法違反認定	→	中労委
2020/6/16	光榮・昌榮	地本・支部	労組法違反認定	→	中労委
2020/7/21	臨海運輸	地本・支部	労組法違反認定	→	中労委
2020/9/25	三和商事	地本	労組法違反認定	→	中労委
2020/9/25	寝屋川ｺﾝｸﾘｰﾄ	地本	労組法違反認定	→	中労委
2020/9/25	旭生コン	地本	労組法違反認定	→	中労委
2020/9/28	ナニワ生コン	支部	労組法違反認定	→	中労委
2019/10/21	徳島	支部	労組法違反認定	→	確定
2020/10/26	五一	支部	労組法違反認定	→	中労委
2020/11/10	北川建材	支部	申立棄却	→	中労委

支部は関生支部、地本は連帯近畿地本

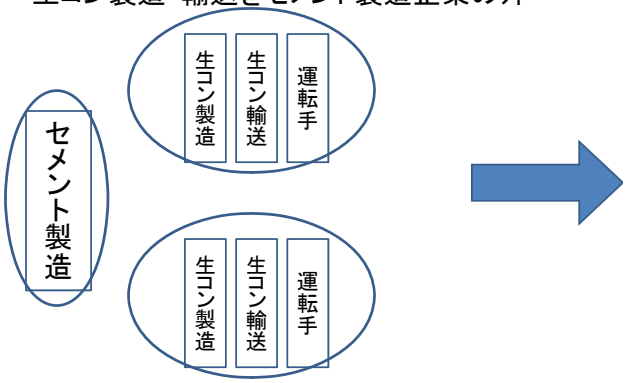
これ以上の弾圧を許さない。
全ての事件、全ての被告人の無罪を勝ちとる。
奪われた雇用を取り戻す。

生コン産業における労使関係のラフスケッチ

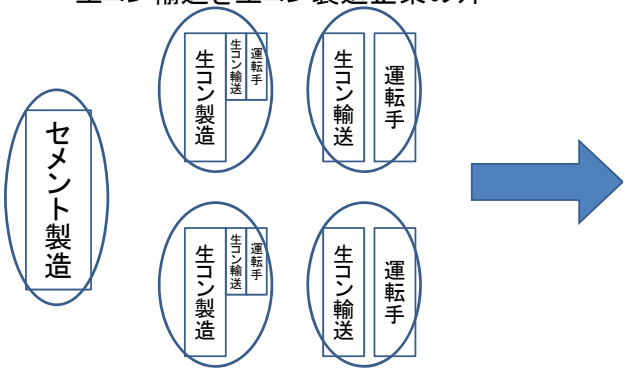
セメント製造から生コン製造・輸送まで
一つの企業体



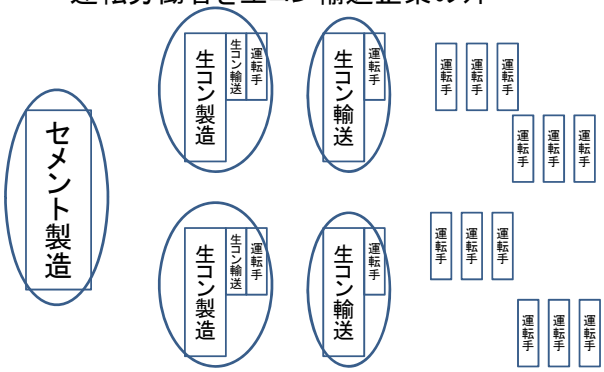
生コン製造・輸送をセメント製造企業の外へ



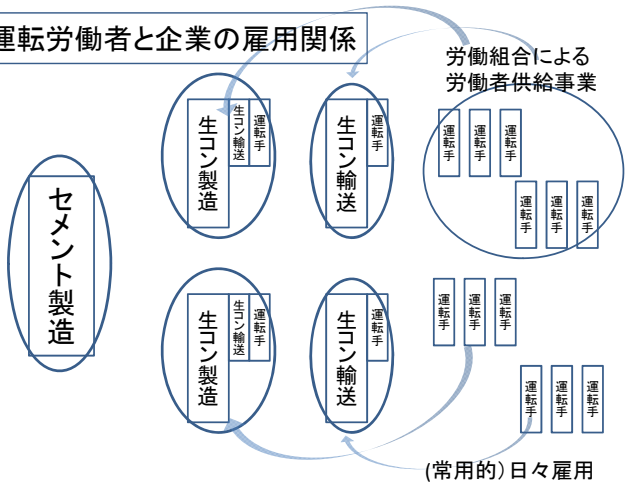
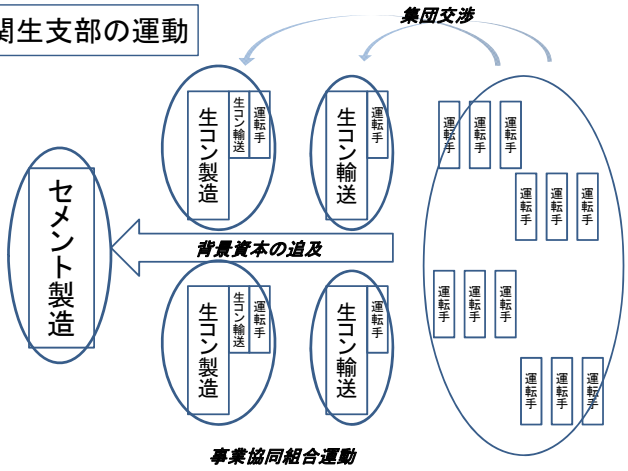
生コン輸送を生コン製造企業の外へ



運転労働者を生コン輸送企業の外へ



運転労働者と企業の雇用関係



関生支部の運動